

出雲市全体 業種別景況（令和4年1月～令和4年3月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年10月～12月期)と比べた 今期(令和4年1月～3月期)の状況				前年同期(令和3年1月～3月期)と比べた 今期(令和4年1月～3月期)の状況				今期(令和4年1月～3月期)と比べた 来期(令和4年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上（完成工事・出荷）額	24.2	29.2	46.6	△ 22.4	26.9	28.8	44.4	△ 17.5	20.6	46.3	33.1	△ 12.5
2 採算（経常利益）	19.1	40.1	40.7	△ 21.6	16.8	41.0	42.2	△ 25.5	15.5	51.6	32.9	△ 17.4
3 資金繰り	8.1	69.4	22.5	△ 14.4	9.4	68.6	22.0	△ 12.6	9.4	72.3	18.2	△ 8.8
4 従業員（含 臨時・パート）	6.4	77.1	16.6	△ 10.2	8.3	72.4	19.2	△ 10.9	11.6	78.1	10.3	1.3
5 商品（製品）在庫	8.1	73.0	18.9	△ 10.8	6.8	71.9	21.2	△ 14.4	11.0	77.4	11.6	△ 0.7
6 業況（自社）	11.7	52.5	35.8	△ 24.1	14.3	49.7	36.0	△ 21.7	13.8	58.8	27.5	△ 13.8

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	36.3	3.0	18.2	24.2	28.8	6.1	19.7	0.0	63.7
2 来 期	41.3	6.6	17.1	30.3	17.1	7.9	18.4	2.6	58.7

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	36.7	11.8	12.4	9 金利負担の増加	0.6	0.7	1.7
2 新規参入業者の増加	1.3	3.5	3.3	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	5.1	4.9	9.9	11 事業資金の借入難	0.6	2.1	0.8
4 材料（原材料）等の入手難	6.3	11.1	6.6	12 従業員の確保難	11.4	10.4	11.6
5 材料（原材料）等仕入価格の上昇	25.9	19.4	12.4	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	1.3	11.8	16.5
6 人件費の増加	4.4	9.0	5.0	14 大企業（大型店）進出による競争の激化	1.3	4.2	4.1
7 仕入・人件費以外の経費の増加	2.5	8.3	10.7	15 その他	1.9	0.7	4.1
8 商品（製品）在庫の過剰	0.6	2.1	0.8				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

《建設業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年10月～12月期)と比べた 今期(令和4年1月～3月期)の状況				前年同期(令和3年1月～3月期)と比べた 今期(令和4年1月～3月期)の状況				今期(令和4年1月～3月期)と比べた 来期(令和4年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	16.7	70.8	12.5	4.2	20.8	50.0	29.2	△ 8.3	8.3	45.8	45.8	△ 37.5
2 採算(経常利益)	12.5	66.7	20.8	△ 8.3	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	4.2	62.5	33.3	△ 29.2
3 資金繰り	8.3	83.3	8.3	0.0	8.3	83.3	8.3	0.0	0.0	91.7	8.3	△ 8.3
4 従業員(含臨時・パート)	8.7	73.9	17.4	△ 8.7	8.7	73.9	17.4	△ 8.7	17.4	78.3	4.3	13.0
5 商品(製品)在庫	5.3	84.2	10.5	△ 5.3	5.3	84.2	10.5	△ 5.3	0.0	94.7	5.3	△ 5.3
6 業況(自社)	8.3	75.0	16.7	△ 8.3	8.3	70.8	20.8	△ 12.5	4.2	70.8	25.0	△ 20.8

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	46.7	0.0	14.3	21.4	28.6	7.1	28.6	0.0	53.3
2 来 期	48.1	7.7	15.4	38.5	7.7	0.0	23.1	7.7	51.9

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	21.7	15.8	12.5	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	10.5	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	8.7	0.0	12.5	11 事業資金の借入難	0.0	5.3	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	4.3	10.5	0.0	12 従業員の確保難	30.4	15.8	12.5
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	30.4	15.8	6.3	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	0.0	18.8
6 人件費の増加	4.3	10.5	31.3	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	6.3
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	15.8	0.0	15 その他	0.0	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

・公共工事の発注を前倒して発注してほしい。

《製造業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年10月～12月期)と比べた 今期(令和4年1月～3月期)の状況				前年同期(令和3年1月～3月期)と比べた 今期(令和4年1月～3月期)の状況				今期(令和4年1月～3月期)と比べた 来期(令和4年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	31.4	20.0	48.6	△ 17.1	42.4	15.2	42.4	0.0	20.6	55.9	23.5	△ 2.9
2 採算(経常利益)	31.4	34.3	34.3	△ 2.9	27.3	36.4	36.4	△ 9.1	20.6	50.0	29.4	△ 8.8
3 資金繰り	11.4	74.3	14.3	△ 2.9	15.2	66.7	18.2	△ 3.0	8.8	70.6	20.6	△ 11.8
4 従業員(含臨時・パート)	2.9	82.9	14.3	△ 11.4	12.1	66.7	21.2	△ 9.1	11.8	76.5	11.8	0.0
5 商品(製品)在庫	8.6	88.6	2.9	5.7	9.1	84.8	6.1	3.0	11.8	82.4	5.9	5.9
6 業況(自社)	17.1	51.4	31.4	△ 14.3	27.3	39.4	33.3	△ 6.1	14.7	61.8	23.5	△ 8.8

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	55.0	4.5	9.1	31.8	27.3	9.1	18.2	0.0	45.0
2 来 期	50.0	9.5	19.0	28.6	14.3	4.8	19.0	4.8	50.0

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	31.4	9.4	11.5	9 金利負担の増加	0.0	0.0	3.8
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	2.9	3.1	7.7	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	14.3	28.1	7.7	12 従業員の確保難	2.9	9.4	19.2
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	40.0	9.4	15.4	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	2.9	18.8	19.2
6 人件費の増加	5.7	6.3	0.0	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	6.3	15.4	15 その他	0.0	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	9.4	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・中国のコロナの再拡大によりサプライチェーンの影響が大きくなった。また、ウクライナの戦争のため、部品が遅延気味でラインがストップした。
- ・材料入荷が遅れるため売上が減少している。
- ・コロナのため営業が出来ないため、先行が見通せない。
- ・コロナウイルスの影響に加え、ロシアとウクライナの戦争により、原材料が毎日の様に上昇し対応に追われる月であった。
- ・資材が軒並み高騰しており、今後の原価上昇により利益減少予想される。今のところ業界で価格転嫁の動きが見られない為、長引くようだと厳しい。
- ・まん延防止措置が3/21で終了し、観光客が3/19～3/21の連休から増加して売上も好調であった。久しぶりに活気が出てきた。
- ・受注環境は自動車関連の好調に起因し増加しているが、コロナ関連の影響で、製造過程において特に電装品の入手が極めて困難が続いており、納期確定が定まらず仕掛製品の滞留期間が長期化傾向にある。また、全般的に仕入品の価格が右肩上がりが続いており価格転嫁も不十分な状況にあって、今後の収益性・資金繰りは厳しいものと予測する。
- ・コロナウイルスの影響で飲食店は不調であった。
- ・ロシアのウクライナ侵攻による、原油、原材料の入手難、高騰が今後懸念される。
- ・中国への輸出が出来ないため、最終ユーザの発注（建機）が減少している。
- ・海外生産国ロックダウンにより生産がストップした。再開の見通しが立たない。

《卸 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年10月～12月期)と比べた 今期(令和4年1月～3月期)の状況				前年同期(令和3年1月～3月期)と比べた 今期(令和4年1月～3月期)の状況				今期(令和4年1月～3月期)と比べた 来期(令和4年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	13.3	20.0	66.7	△ 53.3	18.8	31.3	50.0	△ 31.3	25.0	50.0	25.0	0.0
2 採算(経常利益)	13.3	26.7	60.0	△ 46.7	12.5	43.8	43.8	△ 31.3	25.0	50.0	25.0	0.0
3 資金繰り	6.7	86.7	6.7	0.0	12.5	87.5	0.0	12.5	6.3	81.3	12.5	△ 6.3
4 従業員(含 臨時・パート)	0.0	86.7	13.3	△ 13.3	0.0	87.5	12.5	△ 12.5	6.3	87.5	6.3	0.0
5 商品(製品)在庫	6.7	60.0	33.3	△ 26.7	0.0	68.8	31.3	△ 31.3	18.8	68.8	12.5	6.3
6 業況(自社)	0.0	46.7	53.3	△ 53.3	6.3	68.8	25.0	△ 18.8	25.0	56.3	18.8	6.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	12.5	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	87.5
2 来 期	23.5	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	76.5

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	31.3	21.4	15.4	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	6.3	0.0	7.7	11 事業資金の借入難	0.0	7.1	7.7
4 材料(原材料)等の入手難	12.5	14.3	0.0	12 従業員の確保難	6.3	7.1	15.4
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	31.3	21.4	7.7	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	21.4	15.4
6 人件費の増加	0.0	7.1	0.0	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	6.3	0.0	7.7
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	0.0	15.4	15 その他	0.0	0.0	7.7
8 商品(製品)在庫の過剰	6.3	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・観光部門は業界全体に見通しが立たない。治療部門は松江市内のコロナ感染により客足が減っている。
- ・コンテナの入船減少により品不足が発生している。後継者不足のため廃業が相次いでいる。

《小 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年10月～12月期)と比べた 今期(令和4年1月～3月期)の状況				前年同期(令和3年1月～3月期)と比べた 今期(令和4年1月～3月期)の状況				今期(令和4年1月～3月期)と比べた 来期(令和4年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	21.4	31.0	47.6	△ 26.2	19.0	23.8	57.1	△ 38.1	19.0	47.6	33.3	△ 14.3
2 採算(経常利益)	16.3	39.5	44.2	△ 27.9	11.6	39.5	48.8	△ 37.2	9.3	60.5	30.2	△ 20.9
3 資金繰り	7.0	62.8	30.2	△ 23.3	4.7	65.1	30.2	△ 25.6	9.3	74.4	16.3	△ 7.0
4 従業員(含臨時・パート)	12.5	82.5	5.0	7.5	17.5	75.0	7.5	10.0	15.0	75.0	10.0	5.0
5 商品(製品)在庫	7.0	65.1	27.9	△ 20.9	11.6	51.2	37.2	△ 25.6	11.6	69.8	18.6	△ 7.0
6 業況(自社)	7.1	57.1	35.7	△ 28.6	4.8	52.4	42.9	△ 38.1	11.9	64.3	23.8	△ 11.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	31.3	6.7	20.0	6.7	26.7	6.7	33.3	0.0	68.8
2 来 期	36.2	5.9	17.6	23.5	17.6	17.6	17.6	0.0	63.8

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	47.5	15.8	11.4	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	2.5	2.6	11.4	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	2.5	10.5	8.6	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	7.9	11.4	12 従業員の確保難	10.0	0.0	5.7
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	27.5	18.4	8.6	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	7.9	20.0
6 人件費の増加	2.5	10.5	2.9	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	2.5	15.8	8.6
7 仕入・人件費以外の経費の増加	2.5	10.5	8.6	15 その他	2.5	0.0	2.9
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・原材料の価格上昇がすべての材料に対して上がっており、売価の値上げもその都度悩む状況である。
- ・コロナの影響はいまだ大きく、売上げがなかなか元に戻らない。業務用の商品は不振だが、家飲みの酒類や珈琲豆は好調である。
- ・コロナの影響で、観光客は減少しているが、地元客は内食利用で増加しているように感じる。
- ・自動車メーカーの生産遅れによりお客様注文から納車までの期間が長くなり商品、売上の回転スピードが落ち、月当たりの売上と利益が低迷して来ている。
- ・仕入額の上昇、運賃や原材料の上昇にメーカーが仕入額を上げて、商品の価格を上げざるをえない。
- ・外出、旅行、会などのイベントがなく衣料品の買入意欲が減退し、オミクロン株に感染しやすいので高齢者は外出しない、集まらないのでファッションの業界も飲食店同様低迷している。
- ・原油高になっている。
- ・すべてにおいてやや不調である。
- ・ガソリン販売は昨年比微増、2020年1月～3月の水準には到達していない。
- ・学校制服関係は変わりませんが一般婦人服は着て出るところがないと不況である。

《サービス業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年10月～12月期)と比べた 今期(令和4年1月～3月期)の状況				前年同期(令和3年1月～3月期)と比べた 今期(令和4年1月～3月期)の状況				今期(令和4年1月～3月期)と比べた 来期(令和4年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	28.9	15.6	55.6	△ 26.7	28.9	31.1	40.0	△ 11.1	27.3	36.4	36.4	△ 9.1
2 採算(経常利益)	17.8	35.6	46.7	△ 28.9	17.8	33.3	48.9	△ 31.1	20.5	38.6	40.9	△ 20.5
3 資金繰り	7.0	58.1	34.9	△ 27.9	9.3	58.1	32.6	△ 23.3	16.7	57.1	26.2	△ 9.5
4 従業員(含臨時・パート)	4.5	65.9	29.5	△ 25.0	0.0	68.2	31.8	△ 31.8	7.1	78.6	14.3	△ 7.1
5 商品(製品)在庫	11.1	66.7	22.2	△ 11.1	2.9	80.0	17.1	△ 14.3	11.8	76.5	11.8	0.0
6 業況(自社)	17.4	39.1	43.5	△ 26.1	19.6	37.0	43.5	△ 23.9	15.9	45.5	38.6	△ 22.7

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画								実施・計画 していない
	した	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	27.1	0.0	38.5	38.5	23.1	0.0	0.0	0.0	72.9
2 来 期	41.2	4.8	19.0	28.6	23.8	9.5	14.3	0.0	58.8

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	40.9	4.9	12.9	9 金利負担の増加	2.3	2.4	3.2
2 新規参入業者の増加	2.3	4.9	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	6.8	4.9	12.9	11 事業資金の借入難	2.3	2.4	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	4.5	0.0	6.5	12 従業員の確保難	11.4	19.5	9.7
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	9.1	29.3	19.4	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	2.3	12.2	9.7
6 人件費の増加	6.8	9.8	0.0	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	6.8	7.3	12.9	15 その他	4.5	2.4	9.7
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	3.2				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・コロナの影響はだんだんに慣れてきているのではないかと伺える。
- ・コロナがまた増加し、なかなか先の見通しが見つからない。不況のため次の一手を打つのもためらっている。
- ・コロナの関係での個々の生活行事が無くなる変化によって（冠婚葬祭、旅行、出張等）美容室利用のきっかけがなくなり、来店サイクルがさらに延びる事による一人当たりの年間来店数が減少し、売上の低下となった。
- ・宿泊売上は上がっているが、宴会会議の売上がキャンセル等で悪化している。
- ・コロナ禍により観光客が減少している。
- ・県内近隣県限定のキャンペーンは県の予算を無駄に使っているようなものであり、恩恵にあずかるのは高級旅館、ホテルのみである。クーポン券の配布等手間を取るような業務ばかり増え、また度重なる中止、再開の繰り返しで現場は疲弊している。
- ・燃料の高止まりで採算に影響が出ている。引越等で忙しかった。
- ・コロナウイルスの感染拡大の影響が大きい。
- ・今年度成人式有ったため、着付部門が増えた。働き方改革が少し良くなりました。
- ・2月に島根県にまん延防止等の特別措置の発令により、客が激減した。#WeLove山陰キャンペーンの延長で少し好転したが、原材料や石油製品のビニール製品の値上がりで小売価格の値上げを行うことにした。県外客の車が極端に少ない。